

イチオシイベント  
クラブカップ大会  
2004年10月3日

# クラブカップが駒ヶ根に

木村佳司

クラブカップが駒ヶ根高原に帰ってくる。

中央アルプスを見上げる美しい高原。平坦で微地形変化に富むテクニカルなトレイン。高速道路からのバツグンのアクセス。

子供からベテランまでが楽しめるオリエンテーリング理想郷が駒ヶ根に展開する。

第12回クラブカップ7人リレー大会

2004年10月3日(日)

長野県駒ヶ根市家族旅行村

## 3年間の思い

今や日本最大のリレー大会となったクラブカップ。7人でリレーする総力戦のロマンは毎年多くのオリエンテーリング愛好家を引き付けて止まない。

いまから3年間の2001年。クラブカップは長野県の伊那市「鳩吹公園」にて開催された。真夏の太陽の下、緑の芝生を背景に駆け抜けた多摩OLのウイニングランの記憶も、もう3年も前のことだ。

実はこの年のクラブカップは駒ヶ根高原で開催されるはずだった。それが開催を目前に主宰者の山川氏が緊急入院。ご存知の通り、山川氏は日本を代表するプロマッパー。地図調査は見通しがたなくなり、駒ヶ根クラブカップ計画は頓挫した。

クラブカップの前日イベントとして伊那市の鳩吹公園で計画されていた「水篤刈(みすずかる)大会」。信州大学OBを主体とした有志が計画したイベントにクラブカップ自体を委託することにより、2001年のクラブカップは乗り切った。いや「乗り切った」レベルではなく、多くの参加者に楽しんで貰えるクラブカップになった。

大成功を収めた鳩吹公園でのクラブカップだったが、「いつかは駒ヶ根で・・・」の思いは山川氏の心の中から消えることはなかった。

それから3年の時が流れた。クラブカップ2004はいよいよ駒ヶ根高原に戻ってくる。

## 理想のクラブカップを

「今度こそは本来のクラブカップの環境(施設・競技・地図・コース等々)で、私の理想とする大会を演出していきたいと思います。」

主宰の山川氏はこう宣言している。ここ2年のクラブカップは三河高原で行っているが、トレインのタフさゆえに地域クラブの参加者が本当に満足できるコース作り、イベント作りになっていないという反省がそこにはある。

女性、ジュニア、シニア、あらゆる競技者層が地域クラブには居る。そのひとりひとりが本当に必要とされ、そしてレースを楽しめるようなクラブカップにしたい。それは単に参加レギュレーションだけではなく、地図、コース、会場レイアウトに知恵を絞り、参加者とともに作り上げるようなクラブカップにしたい。

たとえば、走順によって大きく課題を変更する。そのために地図縮尺だって変えることもある。エース区間では縮尺1:10,000を使用するが、ベテラン区間では縮尺1:5,000を使用して見やすい地図を提供するなんてこともクラブカップならOKなのだ。

たとえば、応援するクラブメンバーのすぐ横を走り抜けるコースレイアウトもクラブカップならではの楽しみ・・・いや苦しみののだ。

## 伊那谷トレインの横綱

トレインに恵まれた長野県。中でも伊那谷は中央アルプス山麓に良質なトレインが多い。その中でも駒ヶ根高原は横綱級のトレインだ。

トレインには平坦な部分と適度な山岳地形と別荘地などの部分があり、さまざまな課題をランナーに要求する。通行可能度も良く、適度にヤブもある。何度走っても飽きないのが駒ヶ根高原なのだ。

駒ヶ根高原の地図は1990年の東日本大会でリメイクされたのが最後。その後は地図の売り切れとともに長い眠りについていた。その間に台風の影響で大きく地形が変わったところもある。また木が成長して通行可能度はさらに良くなっている。

これを渾身のフィールドワークで再

調査する。広くは調査しない。あくまでもトレインの一番おいしい部分をGPSなどのハイテクも導入しながら、丁寧に丁寧に調査する予定である。



クラブカップ名物・中間コントロール。大勢の応援の中を走る。

## ピクニック気分で参加

会場となる「家族旅行村」は、普段でもピクニック気分で集まれるところ。オートキャンプ場、サマーボブスレーなど子供が喜ぶ施設に加えて、今年もキッズ0などのクラスも用意することを考えたい。

会場内には露天風呂のある日帰り温泉「こぶしの湯」がある。暑くても、雨でもレース後は即温泉にざぶーんと浸かれる。ああ極楽・極楽。

## OL以外の楽しみも

駒ヶ根高原は中央自動車道の駒ヶ根ICより車で5分というアクセスの良さがうれしい。そしてトレイン内には光前寺や養命酒工場などの名所もあり、手軽ではあるが普段の生活とは違う空間がそこにはある。

さらに足を伸ばせば標高2600mまで登る駒ヶ根岳ロープウェイがある。クラブカップの行われる10月上旬は中央アルプスから紅葉が駆け下ってくる季節。(木村佳司)